

令和4年度に当センターの出来事について紹介します。

畜産研究功労者表彰

- 開催日：令和4年6月17日
- 主催：全国畜産関係場所長会
- 畜産総合研究センター企画環境研究室の齊藤室長が受賞

当センター企画環境研究室の齊藤室長が、養鶏及び飼料作物分野を中心に技術開発に尽力された功績により、全国畜産関係場所長会から畜産研究功労者表彰を受けました。

齊藤室長は、養鶏部門では鶏からの窒素・リン排泄量低減技術を確立したほか、採卵鶏での適正な非フィチン態リン要求量を明らかにし、日本飼養標準の要求量改訂につながった。

飼料作物部門では、イネ WCS の発酵品質及び貯蔵技術の改善に取組み、耕種農家から畜産農家へのイネ WCS の流通促進と、飼料用イネ栽培面積の拡大に貢献したことが評価され、今回の受賞となりました。

令和4年度千葉県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会（乳牛の部）

- 開催日：令和4年6月17日
- 運営責任校：茂原樟陽高校
- 出場選手：3校・15名

家畜の審査は、牛の外貌の観察により、泌乳能力、繁殖能力、強健性等の経済能力を総合的に評価し、家畜の改良を進めていくための重要な技術です。この競技会は学校の授業や農業クラブ活動を通して学んだ家畜審査の技術を競うものです。

例年この時期に当センターで開催されていたが、新型コロナウイルス流行の影響で、3年ぶりの開催となった。今年は県内の3校（旭農業高校、安房拓心高校、茂原樟陽高校）の代表選手15名が真剣なまなざしで競技に取り組んでいました。

<開会式と表彰式>



<競技風景>

